

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都双岡病院増築工事	階数	地下1階地上3F
建設地	京都市右京区常盤古御所町2番の一部 他17筆	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、第一種低層住居専用地域	平均居住人員	112 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 0.0	評価の実施日	2019年9月12日
敷地面積	8,202.83 m ²	作成者	(株)ゆう建築設計 丸川
建築面積	1,737.85 m ²	確認日	2019年9月13日
延床面積	5,616.95 m ²	確認者	(株)ゆう建築設計 木下



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	87%
③上記+②以外の	87%
④上記+	87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

音環境	2.6
温熱環境	2.0
光・視環境	2.8
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性	3.5
耐用性	3.1
対応性	2.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

水資源	3.4
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化	3.5
地域環境	2.9
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
利用者が通常快適に過ごせるように標準的な設備とする。	建設リサイクル法に基づき分別解体と再資源化に努めるよう促す。
Q1 室内環境 外壁・屋根に断熱材を施す。開口部はペアガラス採用。	Q2 サービス性能 高耐久性のある配管、ダクトを採用している。ハートビル法及び京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例の利用円滑化基準を満たす。
Q3 室外環境(敷地内) 山ろく型建造物修景地区、遠景デザイン保全区域の基準を満たす。周辺の街並みと調和した配色とする。	LR1 エネルギー 空調機など高効率の機器を採用。ペアガラス等で高断熱化を図る。
LR2 資源・マテリアル 自動水栓、節水器具を採用している。	LR3 敷地外環境 設備機械エリアには防音壁を設置。設備機器には防振構造を施す。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される